

資料2 材料仕入記録

A用材料		
月 日	受入量 (個)	単 価 (円)
月初有高	400	1,000
11月2日	400	1,030
11月10日	400	1,020
11月20日	250	1,010
11月24日	300	990
11月30日	300	990

B用材料		
月 日	受入量 (個)	単 価 (円)
月初有高	500	2,000
11月6日	500	2,010
11月8日	400	2,020
11月13日	500	2,010
11月17日	800	2,000
11月27日	500	1,990

資料3 月初仕掛品原価 (問2用)

ロット番号	直接材料費 (円)	加工費 (円)
A-512	200,000	580,800
A-513	150,000	288,000
A-514	250,000	198,400
B-616	700,000	1,006,000
B-617	680,000	640,000
B-618	560,000	230,400

※加工費には、直接経費が含まれる。

資料4 月初仕掛品原価 (問3用)

	直接材料費 (円)	加工費 (円)
組製品A	600,000	1,067,200
組製品B	1,940,000	1,876,400

※加工費には、直接経費が含まれる。

原 価 計 算

問題 (25点)

第1問

当社は製品Pを製造・販売している。現在、製品の梱包に3年前に購入した機械(耐用年数8年)を使用しているが、最近発売された梱包機械(耐用年数5年)に取り替えることを検討している。新機械は小型であるが、今後5年間に予想される仕事量をこなすには十分の能力を有している。加えて、人手と梱包時間が少なく済み、毎年の現金支出費用は現在使用している機械(旧機械)より200万円節約できると見込まれる。その他関連するデータは、次のとおりである。

	旧機械	新機械
取得原価	12,000,000円	7,500,000円
現在の処分価額	2,600,000円	—
5年後の処分価額	200,000円	500,000円

そこで、次の問いに答えなさい。すべて税引き後で計算すること。ただし、損金である減価償却費の計算において、残存価額は0円とする。また、税引後所要利益率は20%、法人税等の実効税率は40%である。なお、割引率20%の現価係数は以下のとおり。現在価値の計算には、この現価係数を用いること。計算上生じる端数については、計算途中では四捨五入せず、最終の答えの段階で万円未満を四捨五入しなさい。

1年 0.833	2年 0.694	3年 0.579	4年 0.482	5年 0.402
----------	----------	----------	----------	----------